

平成23・24年度 第1回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成23年6月23日(木) 15:00～17:50	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	新 ○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 旧 ○小林副会長 ○宮下副委員長 ○佐藤副委員長 ×津田委員 ○上原会長 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員		
挨拶	上原会長 小林副会長 芝副会長 会議に先立ち、上原会長より各委員に委嘱状が手渡された。		
議題	1. 報告事項 (1) 第23回総財務委員会議事録(平成23年5月12日) ・県の立入検査により通知された文書の保存期間を定める規程改正案については、事務局が作成し7月総財務委員会に諮ることとする。 ・平成23年度会員名簿広告申込状況について、現在30社90万円の申込みがあり、予算に達したことを報告。 ・第55回通常総会交流会について、下記の意見があった。 ・会費を4,000円に下げたことにより料理は少なめではあったが、会員の負担が少なくすみ、よかったのではないかと。 ・来賓者の読み上げについては、その時点でまだ来られていない方、逆に帰られている方があったが、直近の情報を司会者に伝える手段を考えることとする。 (2) 5月収支報告 ・エコハウス見学会、地引き網、6月5日ウォーキングの収支報告が行われた。報告書は、予算を計上したうえで再度作成することとする。 ・事業の収支報告書は雛形を用意し、経理担当者が予算部分を記載し、事業担当者が実際の入出金の額については経理担当者を確認のうえ、報告書を作成することとする。 (3) ・防災グッズの備蓄はヘルメット、ラジオ、懐中電灯、毛布が納品済み、非常食は注文したが欠品中で納品待ちであることを報告。 2. 審議事項 (1) 6月会員の入退会について ・入会3名、賛助会入会2社、退会7名、賛助会退会1社は6月理事会で承認済みであることを報告。 (2) 地デジ化の対応について ・地デジ化にともない今までのアナログテレビが見られなくなることから、3万円程度のデジタルテレビを購入し、情報を即時に入手できるようにしておくこととする。 (3) 総財務委員会名刺について ・会で統一された名刺が望ましいことから、総財務委員に名刺を用意することとする。 (4) 会議室の内装復旧工事について ・賛助会の(株)互光商会より工事費用の再見積の結果、消費税込みで294,000円となった。このほか、会長室の事務机等を移動させる場合には事務所内のレイアウトを変える必要が生じ、配線工事費などもかかることから、それも合わせた形で引き続き検討事項となった。 ・協会理事で業者に相見積を依頼できる場合はお願いすることとする。 (5) 合同役員会の開催について ・本年度は役員・委員の改選が行われたことから、年末合同役員会の日程を繰り上げ、7月14日に神奈川県建設会館2階講堂にて合同役員・委員会として開催し、顔合わせを行うこととする。 ・会の名称は「合同役員・委員会」とする。 ・時間割は13:30～15:00正副会長会、15:30～17:00合同役員・委員会、17:30～19:00懇親会とする。 ・司会は根岸総財務委員長、内容説明は白井理事とし、会の冒頭で新役員・委員の紹介を行う。 ・交通費については通常の委員会時と同じ額を支払うこととする。 ・懇親会の予算については80名の場合125,000円とし、会費は無料とする。 ・賛助会への懇親会の出席案内はしないこととする。		

(6) 決算書修正について

- ・平成23年5月25日開催の第55回通常総会において承認された平成22年度の決算書の記載について、事務所登録特別会計からの繰入金返済(21・22年度分216万円)が23年度に実行され、収支計算書には反映されていたが、決算書の財産目録、貸借対照表、貸借対照表総括表、計算書類に対する注記の4つの表には反映されていなかったことが、県と公認会計士との「新公益法人制度に関する会計・財務の個別相談会」において公認会計士より指摘があった。公認会計士・顧問会計士ともによくあることという見解であった。銀行の残高証明書と預金残高が合わなくても構わないと公認会計士の指導もあった。県の建築安全課からは先の4つの表にも反映させた決算書を提出するようにと指導があり、修正した決算書を県に提出することとする。
- ・顧問会計士に相談したところ会計上の問題はなく「見解の相違」であるということであった。このことから総会にはかけないで修正し、来期決算は修正した金額を元に作成することとする。
- ・顧問の岡税務会計事務所へはこれまでのお礼と、業務に関して指導強化をお願いすることとなり、三杉専務が岡所長に会うこととなった。

3. その他

(1) 新旧引継ぎ

- ・根岸総財務委員長より総財務委員会の概要と年間の業務内容が説明された。

(2) 会議・行事日程等

- ・総財務委員会は原則毎月第1木曜日に開催することが確認された。
- ・次回総財務委員会は7月7日 14時から。

平成23・24年度 第2回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成23年7月7日(木) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第1回総財務委員会議事録(平成23年6月23日) ・県の立入検査により通知された文書の保存期間を定める規程改正案については作成中であることを報告。 ・平成23年度会員名簿広告申し込み締め切り日は7月10日であることを確認。 ・会議室の内装復旧工事については事務所内のレイアウトを検討し、苦情相談のスペースについて設計監理指導委員会担当の椋副会長にも意見を伺うこととする。 ・平成22年度の決算について、公益法人改革の相談会で公認会計士より指摘のあった部分を修正し県に提出したところ、県から、指摘のあった部分に関連する全てを修正するようにとの指導があり、再修正をすることとした。修正した決算書を根岸総財務委員長と大森総財務副委員長に確認して頂いて県へ再提出することとする。 ・顧問の岡税務会計事務所へ三杉専務が決算のお礼と、公益法人会計を含めて指導の強化のお願いに伺ったことを報告。 ・ボランティアスタッフには説明会での段取りについて委員長からの謝文を送り、近所の会員の方には直接三杉専務が謝罪したことを報告。			
(2) 5月収支報告 ・正会員入会金収入について、入会80名の目標に合わせて240万の予算をたてているが、入会金無料キャンペーンを行うと見合わなくなることもあり、予算には実態に基づいた額を計上するべきではないかという意見がでた。 ・各事業の終了時に総財務委員会に報告を願う事業収支報告書のフォームは(フォーム案2)を使用することとする。			
2. 審議事項			
(1) 7月会員の入退会について ・入会4名、賛助会入会2社を理事会に諮り、退会7名、賛助会退会2社を報告する。			
(2) 地デジ化の対応について ・賛助会の互光商会に地デジ対応テレビを発注する。型はシャープのアクオス32型とする。			
(3) 福島へのバスツアーについて 1. ツアーの名称と目的 : 「東北支援バスツアー」とし、支援を目的とする。 2. 担当者の選定 : 芝副会長、山口委員 3. 旅行会社の選定 : JTB又は相鉄観光等で検討 4. 予算 : 3万円程度 5. 募集方法と募集人数 : 70人(バス2台) 6. 福島会との打合せ 7. 現地支援のスタンスと内容 8. 参加予定者 9. 他単位会への参加呼びかけについては上原会長に確認することとする。 ・担当となった山口委員にプランの検討をして頂く。宿泊は全国大会の開催予定であった福島とする。 ・7月14日の合同役員・委員会にて予め案内を配付することとする。			
(4) 神建国保主催「料理教室」について ・国保に対する認知度、関心を高め、PRにもつながることから料理教室を開催することとする。 ・開催は9月頃を予定とし、8月会報に案内チラシを同封することとする。 ・講師への謝礼はお車代として2万円とし、経費と共に国保組合からの補助金を充てることとする。			

(5) 合同役員・委員会について

- ・出欠の未回答者には再度案内をFAXすることとする。
- ・飲食物等は事務局が手配することとし、花は芝副会長に用意して頂くこととする。
- ・建築士会から花瓶他を借用することとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は8月4日 14時から。
- ・10月の総財務委員会は関プロと日程が重なったため、10月7日(金) 14時から。
- ・来年の決算総会は平成24年5月24日(木)を予約。

平成23・24年度 第3回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成23年8月4日(木) 14:00～18:30	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ×大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第2回総財務委員会議事録(平成23年7月7日) ・平成23年度会員名簿広告申し込みは7月10日に締切り、33社、98万円の申し込みがあり、収入予算の90万円を達成したことを報告。 ・会議室の内装復旧工事については、事務室のレイアウト案を引き続き検討していくこととする。 ・平成22年度の決算書については、修正したものを根岸委員長及び大森副委員長に確認のうえ県へ再提出を行ったことと、県より総会時の決算書に変更があったことについて、協会内で処理しておくことの指示があった。(扱いをどうするか正副会長に委ねる)			
(2) 7月収支報告 ・東日本震災支援金は7月27日現在約198万円が集まっており、すでに3会へは計240万円を送金している。本会からの支出は約41万円となっていることを報告。 ・事業の赤字を減らすためには、事業の途中で予算との収支の状況を把握し、対応について担当委員会で検討することが必要である。			
(3) 会員入会不承認について ・理事会で入会不承認になった木村板金(株)については、顧問弁護士に相談し、入会をご遠慮頂きたい旨を文書にて郵送した。その後問い合わせは無いことを報告。			
(4) ブロック長委任状について ・ブロック長以外の者をブロック支部委員会の委員として選出する委任状が4名分提出されているので、ブロック支部委員会へ報告することとする。			
2. 審議事項			
(1) 8月会員の入退会について ・入会5名、賛助会入会1社を理事会に諮り、退会4名を報告する。 ・平塚支部 TMプランニング様入会については、昨年9月から入会希望の連絡をいただいていたため、当時行っていた入会金無料キャンペーンを適用し、入会金はいただかないこととする。(キャンペーン期間:平成22年9月1日～22年11月30日)			
(2) 入会手続きの事務について ・入会の事務手続きについて支部長より問題提起があったことにより、現在の事務手続きの手順と変更案を作成し、理事会に提出した後、9月7日の支部長会へ提案することとする。			
(3) みらいふれあいフェスティバル2011予算案について ・白井実行委員長より「みらいふれあいフェスティバル2011」の予算書の提出があった。収入より30万円を超える支出があることを把握した。			
(4) ㈱三春情報センターからのイベント協力依頼について ・会員である㈱三春情報センターより、住・暮らしそして食の提案・展示イベント「横浜サローネ」への協力依頼があり、下記の協力依頼について正副会長会へ諮ることとする。 横浜サローネへの後援 横浜サローネへの協賛 (住緑家のパネル展示とする:出展料は無料) 建築デザインコンペティションへの審査員1名の派遣			

(5) 常設委員会等委員候補者推薦状

- ・設計監理指導委員会に欠員が出たことから、藤沢支部甘粕博史様の推薦を理事会へ諮ることとする。
本来、委員の選出は各ブロックから1名となっているが、欠員となったブロックに該当者がなく、会長が推薦することとする。

(6) 第一法規㈱の書籍「建築条例ガイド 首都圏版」の案内文提出等について

- ・賛助会員である第一法規㈱より「建築条例ガイド 首都圏版」の販売促進のため、協会からの案内文をダイレクトメールに同封したい旨のお願いがあったことから、文書の内容を確認し、了承することとする。

(7) 広報情報委員会からの検討依頼書について

- ・広報情報委員会より、協会ホームページ全面リニューアルについての検討依頼があった。
予算は計上していないが、公益目的支出の継続事業であることから今年度に行うことを理事会へ諮ることとする。
- ・広報情報委員会に対して、会員へ現在のホームページに関する意見のアンケートを行い、リニューアルに役立てるように依頼する。

(8) 事務処理規程の一部改正について

- ・県の法人立入検査により改善事項として文書の保存期間を定めるよう通知があったことから、「神奈川県建築士事務所協会事務処理規程」(平成21年4月1日施行)第9条の次に第10条として文書の保存規程を加え、現行の第10条、第11条、第12条はそれぞれ一条ずつ繰り下げる案を4月の理事会で提案し承認されたが、保存期間等に不備があり取り下げた。検討を加え再度理事会に諮ることとする。

(9) 日事連からの「管理講習・開設者研修」(仮称)に対する県への知事指定の継続要望の推進協力をお願いについて

- ・日事連より平成23年11月27日に管理建築士講習の経過措置期間が終了することから、従来実施してきた「管理講習・開設者研修」(仮称)の知事指定継続要望の推進に協力をお願いがあったことから、テキストのできあがる24年度以降には研修会を再開させるため、要望推進に協力することとする。

(10) 神建国保主催「料理教室」について

- ・開催日は平成23年9月17日、会場は鎌倉の中国精進料理店「凜林」、募集人数は先着15名としてチラシを作成し、国保組合員の自宅へ郵送することとする。

(11) 東北支援バスツアーについて

- ・案内を8月会報に同封し、会員及び賛助会員へ周知することとする。
- ・会員は支部長に申込書を提出し、支部長は9月16日を締め切りとして集計し、本会へ申し込むこととする。旅行代金1人3万円の支払も支部でまとめていただくこととする。

3. その他

(1) 川崎支部より川崎支部会報(年2回)を川崎支部会員に本会会報送付封筒に同封していただけないかとの相談があった。他支部との兼ね合いがあることから、取扱い案を作成し検討することとする。

(2) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は9月1日 14時から。

平成 2 3 ・ 2 4 年度 第 4 回 総財務委員会議事録			
開 催 日 時	平成 2 3 年 9 月 1 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員		
挨拶 根岸委員長			
議 題			
1 . 報告事項			
(1) 第 3 回総財務委員会議事録 (平成 2 3 年 8 月 4 日)			
・横浜支部会員(株)三春情報センターからのイベント「横浜サローネ」への協力依頼について正副会長に諮ったところ、後援名義使用の承諾は承認されたが、協賛とコンペ審査員派遣については承認されなかったことが理事会で報告されたことを報告。 ・県の法人立入検査により改善事項であった文書の保存期間を規定するための事務処理規程の一部改正が理事会に諮り承認されたことから、県へ提出することを報告。			
(2) 8 月収支報告			
・事務所登録会計の本年度の収支差額は 8 月末現在 + 2 6 0 万となっている。この金額は一般会計へ返済する 1 年分の額 1 0 8 万の 2 年分以上に相当していることを報告。 ・共済会と神建国保の収支差額については、法人移行後は一般会計と同じ資産として扱われ、公益目的支出として支出する必要があることから、責任準備金の調査及び使途を検討する必要があることを報告。			
(3) 神奈川県建築安全協会からの感謝状及び功労金贈呈の報告			
・神奈川県建築安全協会設立時に出捐し、長年に亘り役員及び評議員を派遣してきたことから感謝状と功労金 2 0 0 万円を贈呈された事を報告。			
2 . 審議事項			
(1) 9 月会員の入退会について			
・退会 2 名、賛助会退会 1 社を理事会に報告する。 ・理事会が開催されない月の F A X 承認の時期については 1 5 日を締め切りとして、総財務委員会開催後に提出された入退会届けを含めて諮ることとし、入会日は翌月 1 日とすることを「入退会の流れ」として支部長会へ提案することとする。			
(2) 会議室の内装復旧工事について			
・事務所レイアウトと見積を委員長会に提出することとする。 ・苦情相談用の電話機については、相談者のプライバシーを守るため、相談員二人が相談者の声をスピーカーにしなくても聞けるような機種を検討することとする。			
(3) 会報発送封筒への書類等同封について			
・会報「KANAGAWA」を送付する封筒に支部の案内書類などを同封することが可能であることをお知らせする文章を作成し直し、次回の委員会にて更に検討することとする。 ・ボランティアスタッフとは切り離して考える。			

(4) 平成24年度予算について

- ・法人移行により24年度予算は本部と支部と合算して作成する必要があるため、スケジュールの確認を行った。新新会計となり従来の会計方法とは異なるため、支部には23年度予算を利用して作成のシミュレーションをしていただくこととなることを報告。

(5) みらいふれあいフェスティバル2011について

- ・9月9日、10日両日の担当を下記のように配置することとした。

- ・会場内総合受付 : 責任者 根岸、副責任者 大森
- ・来賓対応 : 責任者 芝、副責任者(三杉専務)
- ・救護 : 責任者 中村、副責任者 山口
- ・備品等の準備、管理 : 責任者 古茶、副責任者(渡辺職員)

(6) 東北支援バスツアーについて

- ・バスの手配を台数を確定するため、事前に参加人数を把握しておく必要があり支部に9月1日現在の参加予定者の概数を問い合わせることとする。

(7) ウォーキングについて

- ・今秋は行事が多くあるため、開催時期は再度検討することとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は10月7日 14時から。

芝副会長からの課題

- ・会員の証の使い方の検討
- ・ボランティアメンバーの会合を開き、制度を整える
- ・神建国保の紹介方法の検討
- ・賠償責任保険の推進

平成23・24年度 第5回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成23年10月7日(金) 14:00～18:15	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員		

挨拶 芝副会長

議 題

1. 報告事項

(1) 第4回総財務委員会議事録(平成23年9月1日)

・共済会の責任準備金額の検討を行うにあたり、必要な参考資料を会計事務所と打合せ、検討を続けていることを報告。

・会員入退会のFAX承認用紙の記入方法について、意思表示を明確にさせるため○×を記入するように事務局判断で変更してしまったが、従来通り不承認の×記入のみとすることを総財務の意見として理事会に報告することとする。

(2) 上半期収支報告

・中間監査に向けて上半期の収支計算書の他、財務諸表について報告。

・一般会計及び事務所登録会計については、事務所登録初年度に計上していなかった立ち上げ費用の貸し借りの額を計上するように県からの指導があり、今期に計上、調整をすることとする。登録課は今年度も216万円を一般会計に返済出来る見込みであることを報告。

・みらいふれあいフェスティバル2011の収支決算書(案)により現在の経過を報告。

・神建国保主催健康料理教室の収支報告書により、募集の翌々日には申し込みが定員に達し大変好評であったことを報告。

(3) 茅ヶ崎たいあつぷ90推進協議会名義使用報告

・当会でも名義を使用させていただいた後には、次へ繋げていく上で名義使用報告書の提出を全ての団体に行うことが望ましいのではないかと。委員長会に提案することとする。

2. 審議事項

(1) 10月会員の入退会について

・入会4名を理事会に諮り、退会1名を報告する。

(2) 平成23年度中間監査について

・10月27日(木)10時～12時に神事協会議室にて行い、例年行っていた懇親会の代わりに昼食を用意することとする。

(3) 臨時総会提出議案について

・一般社団法人移行に伴い、定款改正、会費規程の制定及び常勤役員の報酬、費用について承認を求めることとし、現在支部で保留中の項目については、印刷の関係により10月中には決めていただくこととしたい。

・12月2日(金)に技能文化会館多目的ホールにて行う。横浜支部の理事会及び役員会と日付が重なっている為、時間帯については理事会に諮ることとする。

(4) 苦情相談用電話機購入について

- ・一般社団法人移行申請を視野に入れ、リースではなく購入することとし、工事は事務局員1名が立ち会いのもと、10月15日(土)の会議室内装復旧工事に合わせて行うこととする。

(5) 共有プリンタ購入について

- ・(4)苦情相談用電話機購入と同様、リースではなく購入することとし、会議室内装復旧工事に合わせて交換することとする。

(6) 賠償責任保険について

- ・賠償責任保険加入促進のための参考資料として加入者名簿を提供。これについては日事連サービスから取り寄せることが可能であり、会員のおおよそ2割が加入している。
- ・この名簿についてはどの様に利用するか検討する必要がある。

(7) 東北支援バスツアーについて

- ・現在82名の申し込みがあり、横浜、海老名共に集合は7:20、出発は7:30とする。
- ・旅行会社には下記の様に看板作成を依頼することとする。

【バス用】 建築士事務所協会(神奈川会・東京会)東北支援バスツアー(1号車)
建築士事務所協会(神奈川会・東京会)東北支援バスツアー(2号車)

【宿泊先用】 神奈川県建築士事務所協会
東京都建築士事務所協会
千葉県建築士事務所協会

【懇親会会場用】 建築士事務所協会(神奈川会・東京会・千葉会)東北支援バスツアー

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は11月10日 14時から地下会議室にて。

平成23・24年度 第6回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成23年11月10日(木) 14:00～17:45	会場	神奈川県建築士事務所協会 地下会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		

挨拶 芝副会長

議 題

1. 報告事項

(1) 第5回総財務委員会議事録(平成23年10月7日)

・名義を使用させていただいた後には、名義使用報告書の提出を全ての団体に行うことが望ましい
ということ11月17日委員長会に提案することとする。

・臨時総会提出議案の一部保留中であった支部会費の項目については、全ての支部からの回答
が揃ったことを報告。

・臨時総会の日時を理事会に諮り、12月2日(金)14時～15時に決まったことを報告。

(2) 10月収支報告

・第4期管理建築士講習会は開催しないことに決まり、その分の収入が見込めなくなったことを報
告。

・東北支援バスツアーについては当会の事業とし、収支を一般会計に組み込むこととする。11万
円程の黒字については当日お世話になった福島会への支援金とすることとし、金額と時期につ
いては正副会長会に諮り、理事会へも報告することとする。

(3) 茅ヶ崎市名義使用報告

・10月24日(土)に住生活月間シンポジウムが行われたことを報告。

(4) 平成24年三会同賀詞交歓会事務局打合せ報告

・10月24日(月)に、24年の幹事会であるJIA神奈川事務局にて24年賀詞交歓会の打合せを行
い、当会関係は芝副会長に司会を、大和綾瀬支部相原氏に歌唱を依頼されたことを報告。

・各支部に会員120名程度の出席割り当てを依頼することとする。

2. 審議事項

(1) 11月会員の入退会について

・入会1名を理事会に諮り、退会1名、共済会友退会1名を報告する。

・11月入会者については11月22日のFAX承認後速やかに臨時総会の案内と議案書を発送する
こととする。

(2) 新聞広告等掲載依頼について

・下記の4社から新年広告申込み依頼があり、新聞等の広告は公益目的支出の広報に当たること
を踏まえ、次のように回答することとする。

- ・(社)日本建築士会連合会…例年通り申し込まないこととする。
- ・神奈川新聞…申し込むこととする。URLを掲載する。
- ・(株)建通新聞社…申し込むこととする。URLは一般紙ではないので掲載しない。
- ・日本工業経済新聞社…申し込むこととする。URLは掲載しない。

(3) 臨時総会について

- ・過去に「第一回臨時総会」があったが、今回は総会の通し番号ではなく「平成23年度臨時総会」とし、新法人に移行後は臨時総会も総会と合わせた通し番号を付けることとする。
- ・司会は根岸委員長とし、議長は水村海老名支部長、副議長は谷田座間支部長にお願いすることとする。
- ・議案書は11月17・18日頃発送し、出席回答締め切りは11月25日とすることとする。
- ・総会欠席者には書面表決をお願いすることとし、委任状対応をしないこととする。

(4) 集団健診実施について

- ・神事協主催の人間ドックを総合健診センターヘルチェックの4つの施設で実施することとする。
- ・保険加入者会議では「平成24年2月に実施し、交通費として2,000円を支給する」と決まっていたが、より多くの方に受けていただきたい主旨から受診日は平成24年2月1日～2月29日の期間に設定し、都合の良い日に受診していただき、後日交通費相当分として2,000円分のクオカードを郵送にて進呈するように変更することとする。

3. その他

(1) 共済会の責任準備金について

- ・県からの紹介を受け金融庁に責任準備金について問い合わせたところ、共済会事業が保険事業にあたる可能性があり、関東財務局に確認するようにという回答があったことを報告。引き続き検討を重ねていくこととする。

(2) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は12月1日 14時から。
- ・10月27日に行われた中間監査の議事録を次回理事会に報告することとする。
- ・ブロック支部委員会からの「平成23年度会員増強キャンペーン期間における入会金の還元(免除)についての検討」依頼について、キャンペーン期間を平成24年3月31日までではなく、平成24年2月28日にしていただくよう回答することとし、委員長会を経て次回理事会に諮ることとする。

平成23・24年度 第7回 総財務委員会議事録			
開 催 日 時	平成23年12月1日(木) 14:00～17:20	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		

挨拶 芝副会長

議 題

1. 報告事項

(1) 第6回総財務委員会議事録（平成23年11月10日）

・後援名義をいただいた事業修了後に、後援名義使用団体に報告書を提出するべきであるということ。11月17日委員長会に提案した結果、各委員会で検討していただき、回答が揃ってから実施することとなったことを報告。報告書のフォームは総財務委員会で作成することとなった。

・東北支援バスツアーの黒字収支差額と参加者による支援金の残額の扱いについて正副会長会に諮った結果、10万円を福島会への支援金とし、残額を募金口座に繰入れることとなったことと、福島会には10万円を送金済みであることを報告。

・集団健診案内は、組合員の家族の受信率を上げるため、組合員の自宅へ家族宛名で送付したことを報告。組合員が受診希望の場合は用紙をコピーして申し込むこととする。

・共済会の責任準備金について金融庁問い合わせたところ、保険業に当たるかどうか関東財務局に問い合わせるようという回答があった。関東財務局に出向いて資料を提出し、保険業にあたるかどうか、検討してもらっているところである。県にこの途中経過を報告したところ、保険業であってもなくても、保険業の準備金として妥当な積立額について関東財務局に問い合わせ、正味財産から差し引くことができるという回答をいただいたことを報告。

・ブロック支部委員会よりの要望があった平成23年度会員増強キャンペーンの期間について委員長会に諮ったところ、平成24年1月から3月末までとして理事会に諮ることとなったことを報告。総財務委員会としては、キャンペーンの期間が決算との兼ね合いから、次回から年度末にならないよう要望することとした。

(2) 11月収支報告

・23年度決算は法定講習収入、第3期会費等未収入金はあるが、かなりの額の赤字が予想されることを報告。

・登録課の今年度の手数料収入が多いのは、5年前の更新件数によるものと考えられる。

(3) 広報情報委員会からのレンタルサーバ更新検討依頼の対応について

・広報情報委員会よりホームページリニューアルに伴い、サーバ契約を最新のものに更新したいという依頼があり、リニューアルの予定時期を考慮し、サーバ契約更新費用を支払ったことを報告。

2. 審議事項

(1) 12月会員の入退会について

・退会1名を理事会に報告する。

・入会申込みのあった川崎支部西様について、川崎支部長に次回理事会において、1月から入金無料キャンペーンが諮られる旨を伝え、申込み希望日を聞いていただくようお願いすることとする。理事会前日までに回答がない場合はそのまま理事会に入会を諮ることとする。

- ・入会申込みのあった相模原支部井上様については、キャンペーン期間中の入会を希望しているため、申込書を1月1日まで預かることとする。

(2) ウォーキングについて

- ・次回ウォーキングを自主開催ウォーキングとし、コースを「日向薬師・七沢温泉 歴史コース」に決定した。平成24年3月3日(土)に開催し、下見は2月19日(日)に事務局中心で行うこととする。
- ・自主開催のウォーキングは年2回の場合、土曜日と日曜日に振り分けて開催することとする。

(3) 平成24年度本部予算書(案)について

- ・本部予算の昨年までの一般会計の部分について検討。職員の給与額が未定であり、職員体制を含め正副会長会で検討していただくこととする。
- ・24年度予算は公益目的支出を踏まえて作成する必要がある。
- ・12月8日の委員長会に向けて、修正する主な点は以下の通り。
平成24年度予算案全体表に支部の合計を一行挿入する。
総財務委員会予算要求案
 - a 地引網の参加費の人数を50名→100名に修正。
 - b 知事指定講習の受講者を350名→200名に修正。
 - c 関ブロ会議の会議費を首都圏連絡会議開催を考慮し30万円→45万円に修正。
 - d 青年部会の交通費を会議費に移動し、240名→120名に修正。
 - e 知事指定講習の支出を計上する。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は1月5日(木) 14時から。

平成23・24年度 第8回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成24年1月5日(木) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第7回総財務委員会議事録(平成23年12月1日)			
・ブロック支部委員会から要望のあった平成23年度会員増強キャンペーンの期間について理事会に諮り、平成24年1月1日から3月31日まで入会申込みのあったものとなったことを報告。			
(2) 12月収支報告			
・23年度の収支は12月までの収支と未収金・未払金の予定を検討したところ1400万円(1200万～1400万)程の赤字が予想される。要因の一つとしては予算計上していなかったキャンペーンを行ったことや、法定講習の開催回数が減ったこと、受講者が少なかったこと、研修会の受講者が少なかったことなどにより、収入が減ったことが考えられる。			
・研修会の収支予算を検討するにあたり、研修会ポイントカードの利用による受講者数の実態について、ブロック支部委員会に23年度の研修会ごとのポイントカード利用者数を集計した資料の提出を委員長会にて依頼することとする。			
・登録課は、一般会計より借り入れている初期投資費用と初年度の赤字分を今年度で完済が可能な黒字収支見込みである。実際の返済額は県との相談が必要になることを報告。			
(3) 共済会責任準備金についての報告			
・県との相談で共済会が保険業に当たらない場合でも、責任準備金に相当する額を、正味財産より差し引いて公益目的支出計画を立てて良いという回答をいただいていることから、関東財務局へ責任準備金に関する計算根拠を問い合わせ、回答待ちであることを報告。			
・責任準備金額が割り出せない、又は根拠を証明できない場合には共済会の財産も正味財産として計上することも考えられる。			
・関東財務局より共済会が「保険業に当たる」という回答があったとしても、保険業の登録申請は行わない。			
(4) 平成24年三合同賀詞交歓会についての報告			
・幹事団体のJIA神奈川の報告により、現在の参加申込み数が43名であることを報告。1月10日の申込み締め切り後、各支部長に出席希望者数に近づくようお願いすることとする。			
・幹事会のJIA神奈川に、司会を務めていただく芝副会長と、1月17日13時～14時に神事協会議室にて打合せを行うこととする。			
2. 審議事項			
(1) 1月会員の入退会について			
・入会2名、会友入会1名を理事会に諮り、退会2名を報告する。			

(2) 後援名義使用報告書について

- ・報告書の雛型案に日事連マークを載せて委員長会へ提出することとする。なお、定型の書式のある相手先には指定書式を使用する旨を記載することとする。

(3) ウォーキングについて

- ・2月会報にチラシを同封し周知することとする。
- ・ウォーキング参加者で国保未加入の方には、当日国保のPRを行うこととする。
- ・HPに国保事業の案内を載せることを検討する。

(4) 平成24年度本部予算書(案)について

- ・24年度は法定講習収入の単価が下がることが決定したため、収入額を修正する。
- ・1月半ばの提出依頼をしている各支部の予算は収支差額が0になるようお願いすることとする。
- ・収支均衡の予算案が必要であることを確認し、委員長会にて理解を求めることとした。
- ・委員長会には総財務委員会提出の予算案を提出し、個々の事業について仕分けを行うこととする。
- ・次回総財務委員会で予算成案を作成し、2月の理事会へ提出することとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は2月2日 14時から。
- ・24年度地引網日程候補は5月12, 19, 26日とする。

平成23・24年度 第9回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成23年2月2日(木) 14:00～18:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第8回総財務委員会議事録(平成24年1月5日)			
・24年度地引網の日程は5月12日に決まったことを報告。			
(2) 第4回委員長会議事録(平成24年1月12日)			
・読み合せを行った。但し次回より委員会報告は各自で読むこととする。			
(3) 2月収支報告			
・23年度に行った講習会の事業収支報告書を2月理事会に提出することとする。			
・東日本震災義援金の今年度分については、2月理事会に報告する。支部に義援金の預りがないかを確認の後、経費に計上することとする。			
・国保会計に未収金が発生していることを報告。			
(4) 責任準備金についての調査の経過報告			
・関東財務局より、神事協の国保事業については給付金の上限が10万円を超えていないことと、会員数が1000人を超えていないことから保険事業には当たらないということ、責任準備金については保険計理人に計算を依頼することによって算出することが出来るという回答があったことを報告。 保険計理人に、責任準備金に準ずることとするための計算の見積もりをとることとする。			
・現在、見舞金に上限の定めがないが保険業に当たらないように、合算した金額が10万円を超えて給付しないように金額が回数を規定する必要があることを報告。			
(5) 茅ヶ崎たいあっぷ90推進協議会名義使用報告			
・理事会へ報告することとする。			
2. 審議事項			
(1) 2月会員の入退会について			
・入会3名を理事会に諮り、退会1名を報告する。			
(2) 御祝金等申請書式の作成について			
・お祝い金の申請書式がなかったことから、案を一部変更し作成することとする。			
(3) ホームページ掲載用国保事業案内について			
・会員外の方にも会員のメリットを見ることが出来るように、ホームページの「協会事業ご案内」ページに掲載することとする。			

(4) ノートパソコン購入について

- ・講習会時に使用しているノートパソコンが古いため動画の再生が困難になっている。講習会に支障をきたさないため、プロジェクトに対応する機種を購入することとする。

(5) ブロック支部委員会からの検討依頼について

支部長と支部役員に会員バッチ(日事連バッチ)を支給できないかという要望について、販売を行っていることが周知しきれていなかったことを踏まえ、ホームページの「書籍等の販売」ページに写真付きで案内を掲載することと、会報3月号にも写真付きの広告を載せることとする。

各支部の公式なEメールアドレスの必要性についての検討依頼について、管理は支部で行うことになるため、全支部の合意が必要と思われることから、委員長会へ諮り、意見をいただくこととする。

本会会費の納入内訳の分かる領収書の発行検討依頼について、会費を預かった支部が明細を記載した領収書を会員に発行していただくように回答することとする。

(6) 阪急交通社提携ツアーガイド行為手当についての内規について

- ・現在、広報情報委員会で行っている阪急交通社提携ツアーのガイド行為手当について、1催行あたり1万円の手当と実費交通費支給の内規(案)が提出された。平成24年度は阪急交通社から神事協に4,000円が支払われる予定となっている。神事協の宣伝につながるが、ツアーの概要及び23年度の実績等の資料を作成し、理事会へ提案してもらうこととする。

(7) 2012みらいふれあいフェスティバル企画書について

- ・ブロック支部委員会より、2012みらいふれあいフェスティバルの企画書が提出された。2月理事会の委員会報告時に説明していただくこととする。

(8) 平成24年度予算書(成案)について

- ・委員長会にて収支差額を0に近づける様に依頼したが、大幅な赤字が改善されなかったため、再度委員長に依頼することを理事会に諮ることとする。

(9) 予算総会(3月26日)時の講習会等の企画について

- ・東北3県の会員を招き、景観・まちづくり特別委員会の視察者と報告会を開催する案が出されたが、景観・まちづくり特別委員会が1月に行った東北視察の報告会を行うことを提案することとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は3月1日 13時~16時

平成23・24年度 第10回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成24年3月1日(木) 13:00～17:15	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	芝副会長 ○根岸委員長 大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ×古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第9回総財務委員会議事録(平成24年2月2日)			
・東日本大震災義援金の経過を理事会へ報告し、2月29日で今年度の募金を締め切ることとなったことを報告。募金は今後も継続する。			
(2) 2月収支報告			
・一般会計の特定預金支出は、周年記念事業積立及び財政調整積立を予算通りに行うこととする。			
・事務所登録会計は、大幅な黒字が見込まれるため、県と調整のうえ一般会計からの借入金残額の全額5,156,675円を今年度に返済することとする。			
・支払について、締め日と支払日を定め、支払先に周知していくことを具体的に検討することとする。			
(3) 共済会事業の責任準備金についての調査報告			
・保険業に準ずることとして責任準備金算出の見積を2社からとったが、2社とも100万円以上と高額であり、更に算出額が想定できないことから総財務委員会として公益法人制度改革対応専門委員会に対して、責任準備金算出を保険計理人に依頼しないこととする意見を提出する。			
(4) 平成24年三会同新春賀詞交歓会の報告			
・収支は-46,056円であったこと、次回繰越額は95,204円であることを報告。			
・次回については神奈川県建築会議において平成25年1月18日(金)にキャメロットジャパンで開催が決定したことを報告。幹事会は建築士会となったことを報告。			
2. 審議事項			
(1) 3月会員の入退会について			
・入会2名を理事会に諮り、退会2名を報告する。			
・FAX承認にて3月15日締め切りで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。			
(2) 神奈川新聞名刺広告について			
・福島県内の被災された方々への義援金寄付として広告依頼があったが、当会ではすでに独自に様々な形の支援を行っていることから、断ることとする。			
(3) 平成23年度相談役参与会について			
・次第のその他に「横浜支部の動向について」を加えることとする。説明は大森総財務副委員長が行うこととする。その他に議題がないか正副会長に確認することとする。			

(4) 東日本大震災の応急仮設住宅の調査報告会開催について

- ・平成24年3月26日午後2時～3時に横浜市技能文化会館にて開催することとし、案内は総会議案書と同封して周知することとする。
- ・総財務委員は当日午後1時15分に集合し、司会は根岸委員長が行うこととする。
- ・報告会の内容の段取りは景観・まちづくり特別委員会にお願いすることとする。

(5) 第56回通常総会について

- ・議長を厚木支部の三平支部長、副議長を大和綾瀬支部の荒谷支部長にお願いすることとする。
- ・事業計画案承認の件は芝副会長、予算案承認の件は大森副委員長より説明を行うこととする。

(6) 3月8日開催の委員長会への報告事項検討について

- ・地引き網開催の手伝いをブロック支部委員会へ依頼することとする。
- ・3月8日委員長会には根岸委員長の代理として、中村副委員長が出席することとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・地引き網開催について下記の通りとすることとする。
 - ・開催案内は総財務委員会で作成し、会報4月号に同封することとする
 - ・旗立て、道案内、宝探し・ビーチサンダル飛ばし等の準備と運営をブロック支部委員会に依頼することとする
 - ・司会は根岸委員長が行う
 - ・バーベキューは各ブロックで適宜焼くこととし、各支部からの食材の持込みを可とする
 - ・会費は例年通り1人2,000円、小学生以下無料とする
 - ・拡声器を購入する(購入後は支部への貸し出しを行う)
- ・ボランティアスタッフと青年部会については具体的な運営について検討していくこととする。
- ・次年度の総財務委員会は原則第1木曜日に開催とし、休日のときは第2木曜日とする。
- ・次回総財務委員会は4月12日 14時から。

平成23・24年度 第11回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成24年4月12日(木) 14:00～18:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第10回総財務委員会議事録(平成24年3月1日)			
・経費支払については、資金繰りを考慮し月末締め翌月末払いとすることとする。			
(2) 第5回委員長会議事録(平成24年3月8日)			
・議事録を基に会全体の方向の確認を行った。			
(3) 3月収支報告			
・事務所登録の収入については、平成23年度が5年周期で一番収入の多い年であったことから、一般会計からの借入金全額を返済することができた。			
(4) 支部長に関する報告書			
・横浜支部の支部長について、平成24年2月16日付けで平山正義氏から小渡佳代子氏に変更があったことを報告。報告書の提出日付は平成24年3月2日であった。			
2. 審議事項			
(1) 4月会員の入退会について			
・入会12名を理事会に諮り、退会44名を報告する。			
・会員の入退会については、次回から、審議事項ではなく総財務委員会開催日時点での報告事項として扱うこととする。			
(2) 貸室料変更について			
・本会の財政が厳しいことから、芝副会長より(有)不二興業に貸室料変更のお願いをしたところ、共益費1坪当たり500円の値下げ案が提示された。年額40万円程の経費削減になることから、16日開催の公益法人制度改革対応専門委員会の日に正副会長に報告し了承をとり、(有)不二興業に回答することとした。回答後、理事会に報告することとする。4月27日までに回答すれば6月分から変更となる。			
(3) 「建築士事務所の管理研修会」について			
・講習の担当を総財務委員会とすることを確認し、事務局の窓口を総務担当の坂本職員とする。			
・会場は安価である県民ホール等を予約する。			
・本年度の講習日を11月6日または11月上旬として予約する。			
・受講者数は200～300名を想定する。			
・講師や周知方法等を総財務委員会で検討していくこととする。			
(4) あんしん財団の紹介代理所受託について			
・藤沢支部会員の(株)湘南営繕協会様から、あんしん財団の紹介代理所受託についての紹介があったが、断ることとする。			

(5) 地引網の開催について

- ・宮城会の会員20名程度が研修旅行のため鎌倉を訪れることとなり、地引網の際、阿波踊り同好会が踊りを披露して下さることとなった。交流を深めることを主眼とし、宮城会との連絡を芝副会長にお願いすることとした。
- ・また、福島県及び宮城県の特産品販売を行う検討をしていることも併せて、芝副会長からブロック支部委員会へ伝えていただくこととした。
- ・次回5月10日の総財務委員会にて最終打合せを行うこととした。
- ・5月7日を目途に参加者数を中村副委員長に報告し、網元と調整をとっていただく。
- ・5月7日を参加申込み受付締切とすることを支部長に周知し、HPにも掲載することとする。
- ・当日は10時集合とする。

(6) 監査会について

- ・監事による会計書類監査を13:00～15:15に行い、根岸委員長と大森副委員長が出席することとする。監査会は15:30～17:00に開催し、司会は根岸委員長が行うこととする。

(7) 第57回通常総会について

- ・黙祷は物故会員に捧げることとする。
- ・議長は平塚の斉藤支部長、副議長は伊勢原の藤川支部長にお願いすることとする。
- ・来賓招待者名簿について、長田監事は(財)神奈川県建築安全協会会長として招待する。
- ・神奈川県住宅営繕事務所所長 小川嘉一様を招待することとする。
- ・総会当日のタイムスケジュールは下記の通りとする。

受付開始	13:30
総会開催	14:00～15:00
表彰	15:00～15:25
政研総会開催	15:30～16:00
賛助会フェア	16:00～17:00
懇親会	17:30～19:30

(8) 政研 第22回通常総会について

- ・会則が改正になり、司会を中村総財務副委員長が行い、決算報告と収支予算の説明を根岸会計責任者が行うこととする。
- ・議長を山口委員、議事録署名人を古茶委員が行うこととする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・スポーツ大会は県西支部が担当で6月30日に開催し、バドミントンを行う。
- ・次回総財務委員会は5月10日 14時から。

平成23・24年度 第12回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成24年5月10日(木) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第11回総財務委員会議事録(平成24年4月12日)			
・議事録の確認を行った。			
(2) 4月収支報告			
・24年度からは新新会計に移行したため、23年度までとは使用する科目が変わっているものがあることを報告。			
(3) 平成23年度監査会の報告			
・議事録の確認を行った。			
(4) 貸室料変更覚書について			
・(有)不二興業の貸室料の値下げ案に回答したこと、覚書を取り交わしたことを報告。			
2. 審議事項			
(1) 5月会員の入退会について			
・委員会開催時点で賛助会入会希望1社、退会2名、賛助会退会1社を報告。			
・15日締め切りで理事会にFAXにて諮ることとする。			
・入退会については報告事項で行うことを確認した。			
(2) 日事連創立50周年の広報について			
・日事連より、日事連創立50周年の広報について協力があったことから、名刺に貼るシールを作成することが正副会長会で決まったことを報告。数は役員25名×50枚とする。			
シールの文字は「日事連は創立50周年を迎えました」とする。			
・会報及びホームページにも掲載することとする。			
(3) 青年部会(仮称)創設について			
・次回の総財務委員会で規約案を作り、理事会へ提出することとする。			
・委員会名は「青年交流特別委員会」とし、委員は原則45歳以下とし、担当副会長を芝総財務担当副会長とし、委員を理事会に推薦することとする。			
・神事協会員でない方からも募り、将来会員になっていただくことを視野に入れる。			

(4) 建築士を対象とする講習の指定(更新)に関する打合せについての概要

- ・県と打合せを行ったことを報告し、スケジュールの確認を行った。
 1. 県要綱を建築安全課で見直し、改正していただくこととなった。
 2. 指定(更新)申請については、決算総会終了後の6月を目処とする。
 3. 講師の派遣、後援の依頼は建築安全課に7月を目処に行う。
 4. 周知は8月から行う。
 5. 講師の担当などを今後検討する。
- ・講習日は第1候補を11月6日とする。第2候補を13日第3候補を12日とする。

(5) 地引き網の開催について

- ・会費は支部で取りまとめて支払って頂き、領収書は合計額で発行することとする。
- ・参加者個人への領収書は支部から発行していただくこととする。
- ・物産品が売れ残った場合は会で買い取ることとし、買掛金は後日振込で支払うこととする。
- ・阿波踊りに使用するCDラジカセは山口委員が用意する。
- ・総財務委員及び事務局は10時に現地集合とする。

(6) 第57回通常総会について

- ・永年功労者表彰の代表受取者は出席回答者からお願いすることとする。
- ・増強支部表彰についても出席回答者からお願いする。
- ・神建国保の健康家庭表彰は総会では行わず、会報にて報告を行うこととする。
- ・政研の司会を中村総財務副委員長が担当することとなったため、懇親会の司会を大森総財務副委員長とする。
後日追加事項 来賓出席者と祝電の読み上げを古茶委員にお願いする。

(7) かながわ建築設計政経研究会 第22回通常総会について

- ・議長を山口総財務委員、司会を中村総財務副委員長、説明を芝副会長と根岸会計担当者をお願いすることとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は6月7日 14時から。
- ・管理建築士講習を会議室で行うこととなり、6月18日開催までに、会議室の設備を整えることとし、アンプとワイヤレスマイク、カーテンを設置することとする。
- ・神建国保加入者を対象とした会議を開催し、国保事業の内容等の報告及び検討をすることとする。また、24年度は女性委員及び協力員を務めていただいていた2名が脱退したが、すでに貢献している人数が十分なことから、補充は行わないことを国保へ報告することとする。

平成23・24年度 第13回 総財務委員会議事録

開催日時	平成24年6月7日(木) 14:00～16:30	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ×三杉専務理事 ×羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		

挨拶 芝副会長

議 題

1. 報告事項

(1) 第12回総財務委員会議事録(平成24年5月10日)

(2) 第6回委員長会議事録(平成24年5月11日)

(3) 5月収支報告

・地引網大会は年々参加者が増えており、次回は予算を増やすこと検討する。

(4) 6月会員の入退会について

・入会1名、休会1名、共済会友入会1名を理事会に諮り、退会2名を報告する。

2. 審議事項

(1) 青年交流特別委員会規定(素案)

・5月理事会にて、青年部会(仮称)の創設について次回理事会に議案として提出することとなっているため、青年交流特別委員会規定案の検討を行った。6月理事会に提出することとする。

(2) 日事連創立50周年の広報について

・正副会長会にて名刺に貼るシール作成について詳細を決めたが、5月委員長会にて配付対象が役員25名から会員全員に変わったため、シールのデザインを個人の様々な名刺に対応できるものに替える必要があるのではないか。日事連からの協力依頼の内容を再度確認し、配付対象者及びそれに見合ったデザインを正副会長会に再度検討して頂くこととする。

3. その他

(1) 「建築士事務所の管理研修会」について

・現在日事連が作成中の講師用DVDが配付されたら、総財務委員はテキストと共に持ち帰り、目を通すこととする。

・開設者に受けていただきたい講習であり、講習会名も管理建築士講習と似ているため、分かりやすくする必要がある。

(2) みらいふれあいフェスティバルについて

・実行委員会が始動し、予算や役割、レイアウト等の検討が進んでいることを確認。

・総財務委員会は役割の一つに懇親会の企画運営があるため、会場の打診をすることとする。

・総財務委員会で東北支援の物販を行うことを、実行委員会へ提案することとする。岩手、宮城、福島の三会との関係を深めることにも繋がる。

(3) 会議・行事日程等

・次回総財務委員会は7月2日(月) 13時から16時。 地下会議室。

・8月の総財務委員会は8月3日(金) 14時から17時。

平成23・24年度 第14回 総財務委員会議事録			
開 催 日 時	平成24年7月2日(月) 13:00～16:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 地下会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第13回総財務委員会議事録(平成24年6月7日)			
(2) 6月収支報告			
・一般会計は、4半期の会費が各支部から入金され、収支は若干赤字であることを報告。			
・登録課の手数料収入は、4半期で昨年より46万円ほど多くなっていることを報告。			
・共済会の慶弔見舞金支出が4半期比率より大きくなっていることを報告。			
(3) 7月会員の入退会について			
・7月13日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。7月2日現在で入会希望者が2名、退会者が3名であることを報告。			
(4) 大和綾瀬支部長代理について			
・大和綾瀬支部より、6月15日付けで同日に退会された荒谷支部長に代わり、副支部長の神田暁氏が当分の間支部長代理となった報告書が提出された。代理であることを明瞭にした報告書に表現を整えて理事会へ報告することとする。			
(6) 国保組合加入者会議について			
・6月28日に国保組合加入者会議を行ったことを議事録にて報告。			
・自主開催ウォーキングの日程については総財務に一任となったため、開催時期を11月初旬と2月末頃に行うこととした。下見には日程の合う総財務委員も参加することとした。			
・健康料理教室開催に向けて、講師の手配を芝副委員長にお願いした。			
2. 審議事項			
(1) 青年交流特別委員会委員の選考について			
・7月中旬には委員候補者の目途が立つので、8月の総財務委員会で検討することとする。			
7月2日現在、川崎支部今井氏、座間支部花田氏、相模原支部寺本氏の名前が挙がっており、5名程度を推薦し、理事会に諮ることとする。			
・任期は他の委員会と同じとする。			
(2) 一般社団法人認可申請について			
・電子申請書の入力について、代理人である岡税務会計事務所に進めてもらっていることを報告。今後の予定は、7月中旬に県に目を通していただき事前打合せを行い、8月の総財務委員会に報告。8月の理事会に諮ることとする。			

(3) 一般社団法人用印鑑の作成について

- ・嘉工門と有隣堂から見積もりを取り寄せ、価格の面から嘉工門に依頼することとする。具体的な準備を進めることとする。

(4) 「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」について

- ・11月の会場が取れなかったため、講習日を12月に変更することとする。次回の予約日には必ず会場を押さえることとする。候補日は12月3日、5日、7日又は12月初旬とする。
- ・県は知事指定講習をやめたい意向があるので今後対策を検討する。
- ・講師は正副会長4名にお願いすることとし、11日の正副会長会に提出することとする。

(5) みらいふれあいフェスティバルについて

- ・懇親会会場として、ローマステーションを予約することとする。詳細は下記のとおりとする。

- ・平成24年10月20日(土)
- ・会場17:00、開始17:30～19:30
- ・2フロア 立食100名程度
- ・飲み放題付き3,500円コース

- ・物販については、東北復興支援をコンセプトとし、岩手、宮城、福島3県の酒と肴を販売することを企画する。7月中旬までに企画書を作成し、実行委員会へ提出することとする。

3. その他

- ・東京会が、入会促進のために事務所の所属建築士数に応じた会費区分を作成したことから、参考のために神事協でも会員事務所の所属建築士数を調べることとする。

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は8月3日(金) 14時から。

平成23・24年度 第15回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成24年8月3日(金) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	×芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 根岸委員長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第14回総財務委員会議事録(平成24年7月2日)			
(2) 7月収支報告			
・講習会等を行う際には費用を記入した企画書を作成し、起案することを委員長会にて依頼することとする。			
(3) 8月会員の入退会について			
・8月9日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。			
・8月3日現在で入会希望1名、賛助会入会希望1社、退会1名。			
2. 審議事項			
(1) 青年交流特別委員会委員候補者の推薦について			
・委員候補者推薦書の書式及び委員会規程が整い、いつでも発足出来るよう準備がされた。委員想定メンバーより委員会発足の準備が整うまで理事会提出を待つこととする。			
(2) 「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」について			
・日程について、県民ホールにて平成23年12月3日(月)に開催することとする。			
・後援について、(社)神奈川県建築士会については同様の研修会をしているが、当会は後援していないことから、後援依頼はしないこととする。			
・受講対象は、25年度に建築士事務所登録の更新を行う事務所とし、案内をすることとする。			
・案内には、法定講習と誤解のないよう、記載することとする。			
(3) 日事連からの全国大会参加依頼について			
・日事連より、当会には45名の参加依頼があり、理事25名、理事以外の支部長13名、他に各支部から1名の出席を理事会でお願いし、各支部にも依頼することとする。			
(4) ウォーキング企画について			
・国保組合では、ウォーキングコースに見学個所を設けても良いことになったことから、会員に興味を持ってもらえそうなコースを検討するため、総財務委員の担当を決めてコース設定をすることとする。11月は大森副委員長、2月の中村副委員長にお願いすることとする。			
(5) 企画業務委員会からの委員会検討依頼について			
・企画業務委員会より、会議等でインターネットを使いたいため、環境の整備をして欲しい旨の依頼があったが、不明な点が多いため、根岸委員長から企画業務委員長へ内容の確認を行うこととする。			

(6) 一般社団法人移行認可電子申請について

- ・県に、電子申請による申請書類を事前に目を通していただくために仮に提出したものと、現在回答待ちであることを理事会に報告する。申請書類について理事会へ諮り、修正等については会長に一任を含め承認を得ることとする。

(7) 一般社団法人移行後の使用印鑑の作成について

- ・代表印、社印、スタンプを篆書体で作成することとする。正副会長会へ報告し、時期が来たら発注することとする。

(8) みらいふれあいフェスティバルについて

- ・物販の企画書を実行委員会へ提出し、産業貿易センターからの回答待ちである。物販が可能になり次第、東北三県の単位会に案内することとする。
- ・当日の担当は下記のとおりとする。

・会計及び保険	事務局
・警備	根岸委員長
・救護	古茶委員
・東北関連コーナーの運営	大森副委員長
・懇親会の企画、運営	中村副委員長、山口委員

3. その他

(1) 会費見直し検討資料

- ・会員建築士事務所の所属建築士人数別会員数を調査し、いくつかの会費設定案を作成した。今後検討を続けていくこととする。

(2) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は9月4日(火) 14時から。

平成23・24年度 第16回 総財務委員会議事録

開催日時	平成24年9月4日(火) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	× 芝副会長 ○ 根岸委員長 ○ 大森副委員長 ○ 中村副委員長 ○ 山口委員 ○ 古茶委員 ○ 三杉専務理事 ○ 羽賀事務局長 ○ 渡辺職員 ○ 坂本職員		

挨拶 根岸委員長

議 題

1. 報告事項

(1) 第15回総財務委員会議事録(平成24年8月3日)

(2) 8月収支報告

・第2期の会費が9月締めのため、推移を見ることとした。予算の会費収入見込み人数が820名であることを確認し、現在60名減であるため収入見込みが予算に対して厳しいことを確認した。

・鎌倉支部の耐震診断事業が活発に行われており、一般事業収入及び業務委託費が予算を大きく超えていることを報告。

・本年度実施の講習会の収支報告は、収支差額が予算ほど黒字になっていないことを確認した。

(3) 9月会員の入退会について

・9月14日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。
9月4日現在で入会希望3名、賛助会入会希望2社、退会3名。

(4) 全国大会参加者について

・9月4日現在で34名の出席申込みがあることを報告。日事連への申込期限は9月7日。

2. 審議事項

(1) ウォーキング企画について

・11月23日に「三溪園～シンボルタワー」コースを開催することとし、9月会報に同封し周知することとする。下見は10月13日に下記の4名で行うこととする。

・雨森国保特別委員 ・三杉専務 ・友井課長 ・渡辺職員

(2) 神事協国保主催人間ドックについて

・国保組合員会議にて今年度も集団健診を行うことが決まっていることから、案内を作成した。組合員には保険証の切り替わりが近々あるので、送付時に周知することとする。
(会議後、集団健診の案内は保険証と別に発送することとした)

(3) みらいふれあいフェスティバル2012について

・懇親会について
開会の挨拶を3F上原会長、4F小林副会長、乾杯の発声を3F白井実行委員長、4F折笠展示部会長、閉会の挨拶を3F棕副会長、4F芝副会長へお願いすることとした。

来賓は3Fへ、出席者は3Fと4Fに分け、支部単位で案内することとする。

会員及び賛助会員への案内は9月会報に同封して周知することとし、出展者6件には別途案内を送ることとする。

・物販について

東北三会のカタログ等が到着し始めており、芝副会長・根岸委員長・大森副委員長で調整することとする。

商品の搬入は10月20日(土)朝に会場へ到着するようにお願いすることとする。

テント1張につき、机4本、椅子8脚の貸し出しを実行委員会へ依頼することとする。

(4) 平成25年度予算作成に関する日程について

・25年度予算は一般社団法人へ移行後のもので、現在社団法人である24年度に予算総会を開催し承認を得ることが必要であるか、又は移行後の理事会での承認が必要であるのか県へ確認することとする。

・予算基本方針を正副会長にお願いする際に、総財務としての考えを委員長から伝えることとした。同様に委員長会を効率良くするため、各委員長が全体の予算バランスを考えて、予算要求をするように委員長会でお願いすることとした。
総財務としては、特に会員数の見積を実数に即した予算立てをし、収支が均衡する予算を作成したい。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

・次回総財務委員会は10月4日 14時から。

平成23・24年度 第17回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成24年10月4日(木) 14:00～17:15	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ×古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		

挨拶 芝副会長

議 題

1. 報告事項

(1) 第16回総財務委員会議事録(平成24年9月4日)

(2) 9月収支報告

・今年度から支部の会費納入期限を四半期末としたことなどから、第3四半期末から運転資金の不足が予想されるため、財政調整積立金の取り崩しを理事会へ諮ることとする。

(3) 10月会員の入退会について

・10月11日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。
10月4日現在で入会希望1名、退会3名、共済会友退会1名。

(4) 支部長に関する報告について

・藤沢支部より支部長が野口氏から端山氏に交代する報告があったため、理事会へ報告することとする。(後日、支部長代理報告に変更)

2. 審議事項

(1) みらいふれあいフェスティバル2012について

物販について

・各県12万円程度の仕入れになるよう、数量の調整をおこなう。
・販売価格は100円単位で設定する。
・売り場の責任者は大森副委員長とし、販売は横浜支部へ手伝いをお願いする。
・販売物の量に見合うようテントは2張りとし、机8台と椅子16脚を借りることとする。
・フェアのノボリ6本の貸し出しを実行委員会へお願いする。
・東北のノボリやポスター等の販促グッズを仕入れ先から借りることとする。
・テントの吊り下げ看板は1枚6,000円かかることから、建築士会へ実費で作成のお願いをする。

懇親会について

・挨拶をしていただく方に都合を伺い、芝副会長が調整を行ったことを報告。
開会の挨拶を3F小林副会長、4F芝副会長、閉会の挨拶を3F上原会長、4F椋副会長へお願いすることとした。
・宮城会より頂いたお酒6本と小さいプラコップを持ち込み、利き酒として自由に飲んでいただくこととする。メーカー・銘柄を記載したチラシを用意する。
・フロアの割り振りについては、参加申込者数が増えてから根岸委員長と事務局で行う。

(2) 中間監査会について

- ・次第と監査書類についての確認を行った。
- ・中間監査における財務諸表の対比の基準日などを会計事務所に確認をすることとする。

(3) 平成25年度予算について

- ・会長からの平成25年度予算基本方針の確認を行った。正副会長会と理事会へ諮り、その後各委員会と各支部への予算書提出依頼を行うこととする。
- ・25年度予算は社団法人である24年度に予算総会を開催し承認を得ることが必要であるか、県に確認したところ、移行後に速やかに理事会を開催し承認を得るか、予算総会を開催し停止条件付きで承認を得るか、どちらでも良いという回答があったことから、予算総会の取止めについて正副会長会と理事会に諮ることとした。合わせて参与会の開催については正副会長会に諮ることとする。

3. その他

(1) 法人移行に伴う印刷物等の検討について

- ・法人移行に伴い変更の検討が必要だと思われる物の確認を行った。必要に応じ見積をとることとする。

(2) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は11月1日 14時から。

ワイ - ファイ

- ・企画業務委員会より依頼されていたWi - Fiについて互光商会へ確認をすることとする。

平成23・24年度 第18回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成24年11月1日(木) 14:00～18:15	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ×古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第17回総財務委員会議事録(平成24年10月4日)			
(2) 10月収支報告			
・登録課の収支は黒字が継続している。繰越金額が400万円を超えているが、その用途等について県と相談が必要になると思われる。			
・みらいふれあいフェスティバル2012東北支援物産展は諸経費を支払い、残額が3万5千円程であることを報告。お酒を送っていただいた宮城会事務局に御菓子を送り、残金は募金として扱うこととする。			
・みらいふれあいフェスティバル2012懇親会は2万円程の黒字であることを報告。フェスティバルの収支に計上することとする。			
(3) 11月会員の入退会について			
・11月15日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。 11月1日現在で退会2名、共済会友退会1名。			
・11月1日から入会金無料キャンペーンが始まることから、10月31日までの入会申込みを控えているため、入会者が少ないと思われる。			
2. 審議事項			
(1) 「横浜消防出初式2013」ご協賛のご案内について			
・横浜消防出初式2013運営事業体より、「横浜消防出初式2013」への協賛の案内があったため、正副会長会へ諮ることとする。総財務委員会としては後援は考えられるが、協賛は協賛金の負担があるため、行わない意見である。			
(2) データバックアップサービスについて			
・理事会にて、会員事務所でも利用できるデータバックアップサービスの情報収集をしてはどうかという意見があったため、参考資料を取り寄せた。今後検討していくこととする。			
(3) Wi-Fi ^{ワイ・ファイ} 機器の設置について			
・互光商会より機器設置の見積を取り寄せたため、委員長会へ報告することとする。ニーズや利用頻度を考慮し検討することとする。			
(4) 一般社団法人用印鑑の作成について			
・法人移行に伴い、登録課で使用している受付印4種と、現在使用中の名刺用に「一般」というゴム印を1個作成することとする。			

(5) 「開設者・管理建築士のための管理研修会」について

- ・11月1日現在、受講申込者数が60名のため、11月会報送付時に会員へ再度案内を送ると共に、総財務委員が電話等で直接勧誘を行うこととする。

(6) 年末合同役員会の開催について

- ・12月13日(木)に横浜市開港記念会館にて開催することとする。案内は発送済み。

(7) 家づくりセカンドオピニオン業務実施規程(案)について

- ・家づくりセカンドオピニオン業務実施規程(案)について、理事会より文面の精査をする旨の依頼があり、検討を行った。原案と総財務検討案を対比させた表に整理し、総財務委員の確認後、家づくりセカンドオピニオン運営特別委員会で再検討していただくこととする。

(8) 平成25年度予算について

- ・各委員長からの予算発表は12月13日の委員長会で行う旨、スケジュールの確認を行った。
- ・総財務委員会の平成25年度予算要求案の検討を行った。委員長作成素案からの変更は下記のとおり。

・賛助会員会費収入	0→77名
・知事指定管理講習収入	→管理研修会収入
・全国大会補助費	50名→80名
・公益法人委員会会議費	0→2,500円×20名
・新入会員用バッチ	50個→80個
・正副会長名刺	→名刺 10箱→100箱
・知事指定管理講習費	→管理研修会費 テキスト200冊→100冊
・写真入会員名簿作成準備費	→会員名簿作成費 2,500円×8名→630円×1,300冊

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は12月6日 14時から。

平成23・24年度 第19回 総財務委員会議事録			
開 催 日 時	平成24年12月6日(木) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第18回総財務委員会議事録(平成24年11月1日)			
・Wi - Fi整備について、機器については長谷川「住・緑・家」運営特別委員長から無償で提供していただいたことを報告。設置及び設定については互光商会へ依頼することとする。費用はおよそ22,000円。			
(2) 11月収支報告			
・10月の理事会で取り崩し承認が得られた財政調整積立金800万円を収支に計上したことを報告。11月末現在の収支は第3期の会費が後納のため、取崩した金額を含めてほぼ均衡していることを報告。			
・「開設者・管理建築士のための管理研修会」について、講習会事業として今後継続して行っていくことから、次年度事務所登録更新の会員に受講していただけるように方策を検討して行くこととする。			
(3) 12月会員の入退会について			
・入会希望者を12月13日の理事会に諮ることとする。また、退会者を報告する。 12月6日現在で入会希望者6名、退会者1名。			
2. 審議事項			
(1) 住緑家運営特別委員会要綱(案)及び細則(案)について			
・「住・緑・家」運営特別委員会より、新たに自治会館・町内会館版の要綱及び運営細則を作成し理事会に諮るための資料の提出があり、確認を行った。誤字脱字他の修正をしていただき理事会に諮ることとする。			
(2) 三会同賀詞交歓会について			
・12月5日に建築士会にて事務局打合せが行われたことを報告。すでに来賓・会員に案内を発送し、今年度の幹事会は建築士会であることを確認した。各会の役員に出席をお願いしていくこととする。			
(3) ウォーキング企画について			
・次回ウォーキングは2月16日(土)に鎌倉で開催することとし、2月2日(土)に下見を行うこととする。下見は中村副委員長、渡辺、友井、赤川、雨森協力員の5名で行う。			
・案内を作成し、1月の会報に同封して参加者を募集することとする。			

(4) 日事連会費規程について

- ・日事連への会費納入時期について、当会はこれまで毎月末ごとに後納しており、日事連事務局としても単位会の事情を尊重していた。しかし、8月の日事連常任理事会において日事連会費規程どおりに運営するべきとなり、四半期ごとの前納について検討の依頼があった。検討した結果、日事連の規程に合わせることにし、来期から対応する旨を回答することとする。

(5) 法人移行に伴う印刷物等の検討について

- ・不二ビルの管理会社へ神事協の看板及び表札等の修正の見積を依頼した。来年度からの使用になることから、来年度予算へ組み込むこととする。

(6) 平成25年度予算について

- ・平成25年度予算書フォームは県からの指導のもと、新新会計に則った形式で作成することとする。
- ・総会での功労者表彰について、退任役員と支部長に感謝状の他に記念品を贈呈していたが、記念品についての規定はなく、予算が厳しい25年度以降は削減することを正副会長会へ諮ることとする。
- ・リース満了を迎える機器等は新機種への交換はせず、再リースしていくこととする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は1月10日 14時から。
- ・相談役参与会は3月18日。総財務委員会が取り仕切る。 時間は未定。

平成23・24年度 第20回 総財務委員会議事録

開 催 日 時	平成25年1月10日(木) 14:00～17:25	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 山口委員 ×古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		

挨拶 芝副会長

議 題

1. 報告事項

(1) 第19回総財務委員会議事録(平成24年12月6日)

(2) 12月収支報告

- ・24年度の収支について、12月までの収支と未収金・未払金の予定を検討したところ300万円以上の赤字が予想される。収支見込表に決算額を記載し、トータルを分かりやすくする。
- ・国保会計は滞納者(未収金)があることを報告。
- ・みらいふれあいの決算表に物産展の義援金を備考に記載する。

(3) 顧問会計事務所の名称変更についての報告

- ・顧問会計事務所の名称が改組により「岡税務会計事務所」から「ベイヒルズ税理士法人」に変わったことを報告。理事会にも報告する。

(4) 1月会員の入退会について

- ・1月15日締めで入会希望者を理事会にFAXで諮り、退会者を報告する。
1月10日現在で入会希望者0名、退会1名。

2. 審議事項

(1) 会費未納賛助会員の取扱いについて

- ・会費納入期限を6ヶ月経過している賛助会が1社あるため、この会員に対する対応を協議した結果、電話にて納入の督促を行い、徴収が見込めないと判断できた段階で定款第8条第2項第3号により、代表者に期限を切って支払を求め、支払がなかった場合には退会したものと見なす文書を送ることとする。

(2) 神奈川県建築士会からの創立60周年記念誌への広告掲載願いについて

- ・本会の会員名簿にも広告掲載をいただいていることから、同様に1/2サイズ(3万円)にて広告掲載を申し込むこととする。なお、広報情報委員会で広告原稿を作成することとする。

(3) 三会同賀詞交歓会について

- ・1月8日現在125名の申込みがある。240名の会員の出席者目標を目指し声かけを行うこととする。
- ・来賓挨拶の順序について、幹事会へ本会の意見を申し入れをすることとする。
- ・来賓名簿の記載順は東京会、埼玉会、千葉会の順に修正を申し入れることとする。

(4) 家づくりセカンドオピニオン業務実施規程(案)について

- ・条文について、家づくりセカンドオピニオン運営特別委員会で再検討した結果を確認した。理事会では総財務委員会が条文を精査をする条件付きで承認されていることを確認した。

(5) 「住・緑・家」コンペ登録事務所規定の改訂案について

- ・「住・緑・家」運営特別委員会より提出された、コンペ登録事務所規定の改正案について検討を行った。要綱が住宅用と自治会館用に分かれていることから、要綱の下に設定する規定は消費者に分かりやすくするために分けて作成することを意見として回答することとする。

(6) 平成25年度予算(案)について

- ・登録会計の人件費について、年末の臨時総財務委員会の修正案(25年9月から担当1名)をやめ、従前(担当者2名)に戻して調整を行うこととする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・新法人の理事会は奇数月開催を原則とし、総財務委員会は毎月第1週開催を原則とする。
ただし、決算案と予算案を理事会提出するための審議をする月は第2週に委員会を開催する。
- ・決算総会前の理事会を第4週に開催することから監査会の候補日を5月15日又は16日とする。
- ・地引き網の予約を中村総財務副委員長にお願いする。候補日は5月18日、25日、6月1日。
- ・次回総財務委員会は2月7日 14時から。

平成23・24年度 第21回 総財務委員会議事録			
開 催 日 時	平成25年02月07日(木) 14:00～17:15	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ×大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第20回総財務委員会議事録(平成25年1月10日)			
第11回委員長会議事録(平成25年1月17日)の概要説明			
(2) 1月収支報告			
・一般会計の今期収支見込は245万円ほどの赤字であることを報告。			
・事務所登録事業は現在340万円ほどの黒字となっており、決算までに昨年並みの収入があった場合にはさらに黒字が増える見込みであることを報告。			
(3) 2月会員の入退会について			
・2月14日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。 2月7日現在で入会希望8名、賛助会入会希望1社。			
・入会希望者1名が4月1日入会を希望しており、1月31日の申込みで入会金無料キャンペーンの対象者として支部から申請があったことを報告。今後この様なことがないよう、入会金無料キャンペーンの期間設定に当たっては、「○月○日入会者まで」とすることを次回のキャンペーン前までに決めることが必要。			
(4) 茅ヶ崎たいあっぷ90推進協議会 後援名義報告書について			
・平成25年1月18日に耐震セミナー(参加者43名)が終了した旨の報告があったことを理事会へも報告することとする。			
2. 審議事項			
(1) 三会同賀詞交歓会二次会の支払について			
・三会同賀詞交歓会二次会に出席していただいた来賓者4名の会費他は本部が負担することとする。			
(2) 地引網大会の開催について			
・平成25年5月11日(土)8時から片瀬海岸にて開催。参加費は昨年同様中学生以上2,000円とし、4月会報に案内チラシを同封し周知することとする。参加申込みは4月28日締切とする。			

(3) ウォーキング企画について

- ・25年度第1回目のウォーキングは横須賀支部古谷様より紹介いただいた「yokosuka海道ウォーク」にグループ参加することに決定。具体のコース等は今後決める。
- ・総財務委員が企画運営を担当した際の下見と本番当日の日当は規程のとおり、半日1,000円、1日2,000円とし、実費交通費と共に支払うこととする。

(4) 法人移行に伴う印刷物等の検討について

- ・封筒印字については 案のとおり「一般」と「社団法人」を2行で記載することとする。
- ・新法人対応の新会員証については、関係があると思われる委員会(総財務委員会、広報情報委員会、企画業務委員会)が合同で検討していくことを理事会にて根岸委員長から提案していただくこととする。作成時期は新法人への会員登録が整ってからが妥当と思われる。
- ・会員証及び賛助会員証は当面の間は現デザインを引き続き使用することとし、新入会員(賛助会含む)予定数100枚の見積を柏苑社から取り寄せることとする。

(5) 理事、委員改選の推薦依頼について

- ・25～26年度の理事推薦配分(案)を平成25年1月1日現在の会員数にて算出し、理事会へ提出することとする。
- ・機構図については委員長会の議事録で人数の整合性がとれていない部分を正副会長に確認し、修正のうえ案を理事会へ提出することとする。
- ・会員数が少なく委員を推薦できないブロックへの対応も検討する必要があるのではないかという意見があった。

(6) 平成25年度予算(案)について

- ・収支差額を0にし、理事会にて承認をいただくこととする。
- ・25年度に開催する総会にて行う永年功労表彰について、新法人の表彰基準(会員歴20年に達した者)に則ると表彰対象者は136名となるが、事務局作成の賞状及び金メッキ製の日事連バッチの贈呈により、予算内に収まることを提案することとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は3月7日 14時から。
- ・行事予定表で漏れている日程を事務局で記載するように芝副会長から指示があった。
- ・相談役参与会は3月18日 15時30分から。

平成23・24年度 第22回 総財務委員会議事録

開催日時	平成25年3月7日(木) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 山口委員 古茶委員 ○三杉専務理事 ○羽賀事務局長 ○渡辺職員 ○坂本職員		

挨拶 芝副会長

議 題

1. 報告事項

(1) 第21回総財務委員会議事録(平成25年2月7日)

・ウオーキング開催の件については、5月26日開催ウオーキングの案内を作成し、4月会報に同封し、参加者を募集することとする。このウオーキングは国保の事業として開催し、コースはハーフコースとする。下見の日程は未定。

(2) 2月収支報告

・24年度決算は、一般会計が250万円程度の赤字の見込みであることと、登録会計が500万円程度の黒字の見込みであることから、協会全体としては黒字の見込みであることを報告。

(3) 3月会員の入退会について

・3月15日締めで入会希望者をFAX承認で理事会に諮り、退会者を報告する。
3月7日現在で入会希望1名、休会1名、共済会友入会希望1名。

・2月18日に本部で受領した、湘南三浦支部からの1月30日付の入会金無料キャンペーン対象希望の入会申込み1名については、本部の受領がキャンペーン期間外ではあるが対象者として受理するかどうか正副会長会へ諮ることとする。

(4) 三会合同新春賀詞交歓会収支報告

・2月15日に三会新春合同賀詞交歓会の事務局会議が行われ、今回の幹事会である建築士会事務局から平成25年三会合同新春賀詞交歓会の収支が15万円程の赤字となり、前年度繰越金えお充当した差引残は6万円弱の赤字となった。この赤字分については2月18日に開催された神奈川県建築会議において審議され、同会議で負担することになったことを報告。今後の運営については神奈川県建築会議内に委員会を設けて行うか、これまで通り幹事会を持ち回りで行うかを同会議で協議していくこととなったことを報告。

・次回の三会合同新春賀詞交歓会は平成26年1月17日、ホテルキャメロットジャパンで開催予定。

2. 審議事項

(1) 地引網大会の開催について

・地引網大会の準備、片付け及びゲーム等の企画運営を例年通りブロック支部委員会にお願いすることとし、委員長会にて委員会検討依頼書を提出することとする。依頼書には関係者の集合時刻を7:00とすることを記載する。

(2) 平成25年度新入会員分会員証印刷代について

- ・平成25年度新入会員へ交付する会員証について、会員及び賛助会員の入会者数半年分を見込み、100名分(正会員70名、賛助会10社[1社3名])を柏苑社に発注のうえ支払うこととする。正会員@300 賛助会員@200計28,350円(税込)。

(3) 一般社団法人移行に伴う会員関係申請手引きの作成等について

- ・一般社団法人移行に伴い会員関係申請書の書式を変更するにあたり手引きを作成することとし、内容の確認を行った。3月26日に県西ブロックで開催される支部長合同ブロック支部委員会に坂本職員が出席し、説明をする。手引き等は事前に各支部長あて郵送とメールで送付することが了承された。

(4) 平成25年度功労者表彰について

- ・平成25年2月14日理事会において一般社団法人表彰基準が承認され、第1回定時総会にて永年功労者130余名を表彰することとなった。
- ・記念品の候補となった金メッキ仕様日事連バッチの見積を互光商会から取り寄せた。表彰対象者を年度単位とし、平成25年度表彰者(平成25年3月31日現在までが対象)は133名であり、過去に表彰されている功労者約80名がバッチを希望した場合には実費で販売すること考え、向こう4～5年分となる300個を予算の範囲内として発注することを正副会長会で最終判断をしていただくこととする。

(5) 平成25年度事業計画案について

- ・平成25年度事業計画案は予算案と共に4月の理事会にて承認を得ていたが、3月中に県に提出し指定事務所登録機関の認可を得る必要があることから、総財務委員会案を作成し正副会長会に諮ることとする。

(6) 相談役参与会次第について

- ・3月18日15時30分から開催し、司会は根岸総財務委員長とする。
- ・「(仮称)事務所法」については資料提供する。
- ・議題として一般社団法人に期待したいことを追加し、正副会長に確認することとする。

3. その他

(1) 事務局職員歓送迎会について

- ・4月11日理事会終了後の18時から「清香楼」にて会費4,000円とし開催。
- ・新規職員2名及び退職者2名を招待することとする。

(2) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は4月4日 14時から。

平成23・24年度 第23回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成25年4月4日(木) 14:00～18:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○伊藤参事 ○磯部事務局次長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第22回総財務委員会議事録(平成25年3月7日)			
・平成25年2月14日理事会において第1回定時総会にて継承から20年の永年功労者130余名を表彰することとなっていたが、3月14日正副会長会にて入会から20年の永年功労者203名を表彰することに変更となったことを報告。表彰記念バッチと賞状の見本の確認を行った。			
(2) 収支決算報告			
・一般会計は850万円程の赤字であったが、登録会計は540万円、共済会会計は17万円、国保会計は28万円程の黒字で、4会計の合計では260万円ほどの赤字であったことを報告。			
・理事会には正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録、科目明細を提出することとする。			
・科目明細の未収金欄の個人名については、入金があった時点で伏せることとする。			
・国保会計の保険料滞納者には入金期限を記した通知を発送することとする。			
(3) 4月会員の入退会について			
・4月11日理事会で入会者を諮り、退会者を報告する。 4月4日現在で入会希望2名、退会7名、共済会友退会1名。			
2. 審議事項			
(1) 一般社団法人移行の周知について			
・平成25年4月1日より一般社団法人へ移行したことから、挨拶の文書を会報4月号に同封し、下記へ発送することとする。			
・会員、賛助会員、共済会友、各単位会、関係団体、行政(県・県内市町村)			
(2) 地引網大会の開催について			
・雨天中止時用の連絡網の作成をブロック支部委員会へお願いする。			
・予算内に納めるため料理の量を調節することと、支部及び賛助会になんらかの支援をお願いすることとする。賛助会へのお願いについては、4月23日事業検討会へ根岸委員長が出席し、行うこととする。			
(3) 暑中見舞広告申込依頼について			
・日本建築士会連合会より暑中見舞広告申込みの依頼があったが、昨年同様申込みは行わないこととする。			
(4) 平成25年度会員増強キャンペーンについて			
・ブロック支部委員会より、平成25年度会員増強キャンペーンについて検討依頼があったことから、案内の文書に「本キャンペーンをご利用の方は入会日の指定はできません」と記載していただくことを回答することとする。			

(5) ホームページ及びPDF作成ソフト購入について

- ・現在事務局で使用するソフトでは会員や講師等から送付された資料の編集に対応できなくなっていることから最新バージョンのソフトを購入することとする。

(6) 平成25年度事業計画案及び収支予算案を理事会に付議する件について

- ・4月理事会にて平成25年度事業計画案及び収支予算案の承認をいただくこととする。説明は事務局次長が行う。

(7) 監査会について

- ・会計書類と事業報告書の監査を行う。日時は5月16日(木)15時～17時とし、終了後に会費4,000円にて懇親会を行うこととする。出席者は下記の通り。

・芝副会長、根岸委員長、大森副委員長、中村副委員長、伊藤参事、磯部事務局次長、渡辺経理担当

- ・5月23日開催理事会にて監査会の報告を行う。事業報告の説明は専務又は正副会長が行うことになっているため、説明者を4月11日正副会長会にて決めていただくこととする。また、監事より5月16日の監査報告をしていただくこととする。

(8) 第1回通常総会について

- ・平成25年度事業計画及び予算の報告を行い、平成24年度事業概要及び決算報告を行うこととする。

- ・監事による監査報告を行うこととする。

- ・永年功労者表彰については、表彰者が203名いることから名前の読み上げは行わず、代表者1名を表彰することとする。

代表者については、出席者の内最も永年である方で、あいうえお順でお願いすることとする。

- ・料理の内容については予算に見合うものとする。

(9) 政研 第23回通常総会について

- ・総会を開催するにあたり、政研役員会を開催することとする。日程は5月2日又は7日で調整を行う。

3. その他

(1) 全国大会開催について

- ・全国大会参加者への補助金の予算については、功労者及び表彰者分を含み32万円であり、1人当たりの補助金額の検討については参加人数の把握ができてから行うことを確認した。

(2) 会議・行事日程等

- ・7月理事会日に合同役員会を開催するか検討することとする。

- ・次回総財務委員会は5月9日 14時から。

平成23・24年度 第24回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成25年5月9日(木) 14:00～18:15	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 古茶委員 ○伊藤参事 ○磯部事務局次長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第23回総財務委員会議事録(平成25年4月4日)			
・通常総会での永年功労会員表彰代表者のあいうえお順については、事務所名で、アルファベットを含めたふりがな順にすることを確認。			
(2) 収支決算報告			
・日事連への会費支払いについて、以前日事連より指摘があり、今年度より3ヶ月分ずつ支払ったことを報告。支部からの会費は後納のため資金繰りを考慮し、支払い方法を日事連へ相談することも検討していくこととする。			
・財政調整積立金より一時的に流用している800万円を積立金に戻すことが可能か検討していくこととする。			
・講習会の事業収支報告書について、費用に職員人件費も計上することを確認していくこととする。			
・各委員会の予算執行については、総財務委員会を経由し、内容の確認を厳しく行っていくことを検討していくこととする。			
(3) 5月会員の入退会について			
・5月23日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。 5月9日現在で入会希望3名、賛助会入会希望1社、退会1名、賛助会退会2社。			
(4) (有)日事連サービスへの出資依頼について			
・(有)日事連サービスは(株)へ移行することが決定しており、出資依頼があったことから、1株(5万円)を資産として購入することを理事会へ諮ることとする。			
(5) 日事連からの全国大会協賛金依頼について			
・日事連より全国大会(三重大会)への協賛金(5万円)の依頼があり、支払について理事会へ諮ることとする。			
2. 審議事項			
(1) 地引網大会の開催について			
・総財務委員及び職員の集合時間は7時であることを確認。			
・下記より支援をいただけることとなったことを報告。			
・横浜支部・鎌倉支部・賛助会・横須賀支部安田支部長・横須賀支部増田氏			
(2) 委員会組織変更に伴う総財務委員会の業務内容取りまとめについて			
・委員会組織変更後の総財務委員会の事業内容の確認を行った。「会員の福利厚生」について、主に健康保険や慶弔見舞い等を指し、イベントや懇親会といった催しの運営はブロック支部委員会に引き継いでいただきたい旨を委員長会へ報告することとする。			

(3) 国保組合加入者会議について

- ・国保組合加入者会議を事務局会議室にて過去2回行ったが、出席率が低いため、今年度は5月26日開催ウオーキング終了後に懇親会場にて簡潔に行うこととする。
- ・国保組合現委員の任期が平成26年7月までとなっていることから、仕事内容をまとめた資料を作成し、後任者の検討をしていくこととする。

(4) 企画業務委員会からの(仮称)「神事協ポイントデータベース」整備に伴うポイントカードの見直しについての検討

- ・企画業務委員会より(仮称)「神事協ポイントデータベース」整備に当たり検討の依頼があったことから、下記のとおり回答することとする。
- ・役員、委員へのポイント交付時期は(案)の年度初めではなく、前年度の実績で交付してはどうか。
- ・新しく作成する会員証にポイント機能を付けることが可能か検討していただきたい。
- ・ポイント内容を検討をするに当たり、まずは活用を始め、利用状況を確認することも必要である。
- ・会員証については免許証明書と同等以上の内容を記載することによりメリットが出るのではないか。

(5) 監査会について

- ・監査会及び理事会での事業報告及び会計報告は事務局次長が行うこととする。
- ・提出資料については、委員全員で内容を確認することとする。

(6) 第1回通常総会について

- ・出欠回答用紙に委任欄を設けることとする。
- ・来賓125名に総会案内を送付することとする。
- ・議案書掲載の予算書について、「収支予算書」を掲載し、理事会にて説明資料として扱った「収支予算集計書」は掲載しないこととする。
- ・司会を根岸委員長、事業計画報告及び事業報告を芝副会長、予算の報告及び決算報告を大森副委員長にお願いすることとする。

(7) 政研 監査会及び第23回通常総会について
(議長及び議事録署名人の担当決め)

- ・年次大会では議長を古茶委員、議事録署名人を山口委員にお願いすることとする。

3. その他

(1) 正会員情報確認調査について

- ・法人移行に伴い全ての会員へ「正会員情報確認表」を送付し調査を行うことと、通信費として約124,000円の費用がかかることを報告。

(2) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は6月6日 14時から。
7月4日総財務委員会までは現委員が行うことを確認。(7月11日理事会で新委員が承認されます)
- ・5月13日賛助会定例会へ芝副会長が出席

- (他) ・提出資料については必ず複数人で校正を行うこととする。

平成23・24年度 第25回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成25年6月6日(木) 14:00～17:40	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ○古茶委員 ○伊藤参事 ○磯部事務局次長 ○渡辺職員 ○坂本職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第24回総財務委員会議事録(平成25年5月9日)			
(2) 収支決算報告			
・財政調整積立金より一時的に取り崩して流用している800万円について、会員からの会費納入が後納であることと、日事連への会費支払が前納であるため、当面戻せる見込みがないことを報告。			
(3) 6月会員の入退会について			
・6月14日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。 6月6日現在で入会希望1名、賛助会入会希望2社、退会3名。			
・芝副会長よりご紹介いただいた(株)損害保険ジャパンは本会推薦として賛助会入会を諮ることとする。			
・6月1日付け入会の横浜支部会員より入会を辞退したい旨の申し出があったことから、横浜支部から対応の検討依頼があった。下記の検討結果を根岸委員長から横浜支部長へ伝えていただくこととする。			
・すでに入会承認がされており、会員証発行等の手続きも済んでいることから、退会届けを提出していただき、通常通りの退会手続きを進めていただきたい。			
・横浜支部が再度の検討を希望される場合は正副会長会へ諮ることとする。			
(4) 平成24年度監査会の報告			
・監査会は滞りなく終了し、5月理事会において監査報告済みであることを報告。			
(5) 日事連からの「法定講習業務委託費の支払についての協力依頼」について			
・日事連より、事務軽減のため管理建築士講習委託費の中間金支払いを廃止し、清算金のみの一括払いに変更する旨の協力依頼があったことを報告。			
(6) 神奈川県建築会議の監事の推薦について (正副会長会にて伊藤参事を推薦することが承認されています)			
・神奈川県建築会議より監事推薦の依頼があり、回答期日が迫っていたことからすでに正副会長会にて伊藤参事を推薦することが承認され、回答済みであることを報告。			
2. 審議事項			
(1) 登録課データベース用ノートパソコンの機種変更について			
・登録課で使用しているデータベース用ノートパソコン(XP)3台について、XPサポートが終了する平成26年3月までに機種を変更する必要があることから、データベースが対応しているウィンドウズ7に変更することとする。リース料は現行より3,000円安くなることと、ウィンドウズ7の在庫がある時期に早急に対応することとする。			

(2) 外付けハードディスクの購入について

- ・講習会をビデオ撮影したデータを保存するに当たり使用していた外付けハードディスクが損傷したため、容量2TBのものをバックアップ用含め2台購入することとする。

(3) 支部交付金の検討について

- ・小林副会長より、支部交付金額について支部長会にて再検討を行いたいため、総財務委員会からの提案を検討するように依頼があったことから、下記のとおり回答することとする。

↓

- ・構成員の少ない支部が活動出来る財政基盤作りを目的とし、支部交付金のうち基本額の部分の検討を行っていただく。予算の総額は変更せずに配分を検討していただく。

(4) 退任役員、退任監事、退任支部長への記念品及び賞状について

- ・退任する役員、監事及び支部長の記念品について、財政が厳しいため一律5,000円、会長職については10,000円とすることを正副会長に承諾いただいていることを報告。また、感謝状並びに表彰状についてはA4サイズ縦使い横書きとし、市販の用紙にて作成することとする。次年度からは永年功労者の賞状も同様に作成することとする。

(5) 第1回通常総会について

< 総会について >

- ・議事録署名人は上原会長の他、横浜支部森山氏にお願いすることとする。
- ・退任支部長代表並びに全受賞者代表は愛川支部矢後氏、会員増強支部代表は県西支部小林氏にお願いすることとする。
- ・永年功労会員表彰代表者の選定について、出席者の内、最も永年であり、事務所名のあいうえお順で選定することとしたとおり、代表者は一級建築士事務所株式会社アーキテクトホンダの芝京子氏とすることとする。
- ・議決権を委任されている方には連絡をとり、認識をお願いすることとする。
(欠席により委任者分も無効となるため)
- ・出席者への定足数配付は行わないこととし、数の把握は事務局で管理することとする。
- ・物故者黙祷は30秒程度とする。
- ・理事推薦については、敬称を省略せず名前を読み上げることとし、推薦理事には前へ出ていただくこととする。
- ・受付は12時30分開始とし、関係者(総財務委員含む)は4Fエリゼの間前に12時集合とする。

< 懇親会について >

- ・次第はA3、2つ折りで作成し、正副会長名については、当日選任されるため記載しないこととする。
- ・来賓出席者名簿については、出席者名ではなく招待者名を記載することとする。
- ・司会は事務局坂本が行うこととする。
- ・来賓用テーブル4台を中心としたコンパニオン4名を手配することとする。
- ・参加申込み後の欠席者には参加費を請求することとする。

(6) 政研第23回通常総会について

- ・進行の確認を行った。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会は7月4日 14時から。
(引継のため8月1日も出席をお願いいたします)
- ・7月11日を合同役員会開催予定日とし、準備を進める。
飲食代として会費2,000円をいただくこととする。

平成23・24年度 第26回 総財務委員会議事録			
開催日時	平成25年7月4日(木) 14:00～17:00	会場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	○芝副会長 ○根岸委員長 ○大森副委員長 ○中村副委員長 ○山口委員 ×古茶委員 <オブザーバー> ○白井勇 ○永田健治 ○来住野昇 ○伊藤専務 ○磯部事務局次長 ○渡辺職員 ○野口職員		
挨拶 芝副会長			
議 題			
1. 報告事項			
(1) 第25回総財務委員会議事録(平成25年6月6日)			
・入会承認後の入会辞退者については、入会金と1ヶ月分の会費を納入していただき、通常通りの退会手続きが済んだことを報告。			
(2) 収支決算報告			
・7月支払予定である日事連への第2期会費支払については、日事連の未収金の入金が確認できてからとし、支払時期については担当副会長並びに委員長に相談することとする。			
・総会費について、会全体の総会であることから一般会計の負担だけではなく、他会計からの一部負担について検討していくこととする。			
(3) 7月会員の入退会について			
・7月15日締めで入会希望者を理事会に諮り、退会者を報告する。 7月4日現在で入会希望2名、退会2名。			
・退会される川崎支部深瀬建築設計事務所については、共済会友入会の案内をしていただくよう、支部長へお願いすることとする。			
2. 審議事項			
(1) 暑中広告掲載について			
・新聞各社より届いている暑中見舞い広告掲載のお願いについて、24年度実績は建通新聞、日刊建設通信、日刊建設産業新聞、日本工業経済新聞の4社であることを報告するが正副会長5名の役職並びに氏名を掲載し、1社当たり15,000円以下で交渉することとする。			
(2) 神奈川県建築会議並びにCPD委員会出席者への交通費支給について			
・平成24年7月から25年6月期に当会から出席していただいた神奈川県建築会議並びにCPD委員について、先方からの交通費支給額と当会の費用弁償規程とを比べ不足している額の交通費等の支払いを行うこととする。(24年6月期までの分は支払い済み)			
・今回は特例として当会から他団体の会議へ出席し、先方から交通費が支給された場合の費用弁償について定めがないため、旅費規程の整備等の検討を行っていくこととする。			
(3) 他団体へ支払う年会費等について			
・例年支払っている年会費等の見直しの必要があるか、正副会長会へ確認並びに検討をお願いすることとする。			

(4) 法人税の申告期限延長制度について

- ・法人税の確定申告並びに納付については原則決算後2ヶ月以内となっているが、当会では今年度より総会が6月となり、5月末の申告では総会承認前の未確定決算となってしまうことから、顧問会計士より申告期限延長制度の案内があったことを報告。不測の事態により無申告になるリスクを減らすために期限延長申請を行うこととする。ただし、2ヶ月以降の納税には利子税が発生することから申告並びに納付については従来通り決算後2ヶ月以内とする。

(5) 第37回建築士事務所全国大会について

- ・補助金対象者は例年通り大会、記念パーティ共に出席する者とする。
- ・7月4日現在補助対象者は57名おり、予算通り1人当たり4,000円を補助することとする。請求書は支部へ発行することとする。

(6) 賛助会員・大建工業(株)より依頼の「耐震診断実施事務所紹介制度」の受け入れについて

- ・賛助会員である大建工業(株)より「耐震診断実施事務所紹介制度」について協力をお願いがあり、支部長会、木造特別委員会を経ていることから、受け入れの検討を正副会長会並びに理事会に諮ることとする。総財務委員会からは下記の意見がだされた。

- ・1年間施行してみてもどうか
- ・神事協からの条件も検討してはどうか
- ・協定書の締結が必要ではないか

- ・首都圏会議にて話題にさせていただくこととする。

(7) 支部への後援依頼の取扱いについて

- ・他団体から支部への後援依頼の取扱いについては、地域性があるため後援は支部の判断にて行い、本部へ届け出る案を理事会へ諮ることとする。

(8) 平成25年度合同役員会等の開催について

- ・7月16日(火)神奈川県中小企業共済会館にて開催することとする。
- ・合同役員会並びに親睦会の進行は新総財務委員会へお願いすることとする。
- ・親睦会については会費1,000円をいただき、缶ビール、ウーロン茶、サンドウィッチ等1人当たり1,500円程度のつまみを用意することとする。

3. その他

(1) 会議・行事日程等

- ・次回総財務委員会の日程は未定。
(新メンバーで調整することとする)

- ・旧メンバーからの申し送り事項

賛助会への出席及び協力を総財務委員会でみていくこと。